

## 衛生・公衆衛生学 担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第2学年 後期

後期 講義 18.0時間 演習 1.5時間 実習 9.0時間

### 教育成果（アウトカム）（講義）

歯科医師として健康寿命の延伸や健康格差の是正に寄与するために、自然環境、社会環境の人体への影響を理解し、改善するために必要な知識、態度、技能が身につく。

### 事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月10日(火) 2限	岸光男准教授	<b>健康と予防の概念</b>  健康と予防の概念を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の概念を説明できる。</li> <li>2. 口腔と全身の健康との関連を説明できる。</li> <li>3. 疾病の概念、種類および予防を概説できる。</li> <li>4. 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。</li> <li>5. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。</li> </ol>
11月17日(火) 2限	岸光男准教授	<b>疫学Ⅰ</b>  疫学について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疫学を定義できる。</li> <li>2. 病因とリスク要因の違いを説明できる。</li> <li>3. 記述疫学と分析疫学の違いを説明できる。</li> <li>4. 観察研究と介入研究の違いを説明できる。</li> <li>5. コホート研究と患者対象研究の違いを説明できる。</li> <li>6. 相対危険度、寄与危険度、オッズ比を説明できる。</li> </ol>
11月24日(火) 2限	岸光男准教授	<b>疫学Ⅱ</b>  疫学調査と集団健診（スクリーニング）について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母集団と標本集団について説明できる。</li> <li>2. 疫学調査とスクリーニングのちがいを説明できる。</li> <li>3. スクリーニングの意義を説明できる。</li> <li>4. スクリーニングの有効性の指標を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月1日(火) 2限	岸光男准教授	<b>疫学Ⅲ</b>  科学的根拠に基づいた医療（EBM）を理解する。  (疫学演習) 疫学指標を算出できる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EBM を概説できる。</li> <li>2. 根拠ある 歯科疾患の予防法を列挙できる。</li> <li>3. 疾病リスクを数量的に評価する。</li> <li>4. スクリーニングの有効性を数量的に評価する。</li> </ol>
12月2日(水) 2限	岸光男准教授	<b>感染症の予防</b>  感染症の成立と予防について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症成立要素を説明できる。</li> <li>2. 感染症成立要素に応じた対策を説明できる。</li> <li>3. 感染症法を概説できる。</li> <li>4. 院内感染対策法を説明できる。</li> </ol>
12月8日(火) 2限	岸光男准教授	<b>非感染症の予防</b>  非感染症の成立と予防について理解する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 非感染症の要因と成り立ちについて説明できる。</li> <li>2. 生活習慣病について説明できる。</li> <li>3. 四大生活習慣病（四大死因）について説明できる。</li> <li>4. 生活習慣病の予防について説明できる。</li> </ol>
12月9日(水) 2限	南健太郎助教	<b>環境と健康Ⅰ（地球環境保全、公害、温熱環境、大気物質）</b>  環境問題について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主な地球環境問題を列挙できる。</li> <li>2. 主な世界環境保全のための条約等を列挙できる。</li> <li>3. 地球温暖化の影響を列挙できる。</li> <li>4. 日本の代表的公害事例を列挙できる。</li> <li>5. 環境基本法を概説できる。</li> <li>6. 空気の正常成分と異常成分を説明できる。</li> <li>7. 大気汚染物質による健康障害について説明できる。</li> </ol>
12月16日(水) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	<b>環境と健康Ⅱ（水質・騒音・廃棄物）</b>  環境と健康との関わりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活用水の取水から排水までの経路を説明できる。</li> <li>2. 浄水法を説明できる。</li> <li>3. 汚水・汚物と環境問題を概説できる。</li> <li>4. 汚水処理法を説明できる。</li> <li>5. 上下水道の水質基準を説明できる。</li> <li>6. 騒音・振動による健康障害を説明できる。</li> <li>7. 廃棄物処理法を概説できる。</li> </ol>
1月6日(水) 2限	非常勤講師 米満正美先生	<b>人口問題 (静態人口・動態人口)</b>  人口と健康の関わりについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我が国における人口の年次推移を説明できる。</li> <li>2. 人口静態統計を概説できる。</li> <li>3. 人口静態統計指標の定義と背景を説明できる。</li> <li>4. 人口動態統計を概説できる。</li> <li>5. 人口動態指標の定義と背景を説明できる。</li> <li>6. 各指標の最近の数値とその年次推移を概説できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月13日(水) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	<b>健康と食生活Ⅰ</b> 栄養と健康について理解する。	1. 健康と栄養との関係を概説できる。 2. 国民栄養の現状について説明できる。 3. 日本人の食事摂取基準について説明できる。
1月19日(火) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	<b>健康と食生活Ⅱ</b> 栄養と健康について理解する。	1. 食中毒について説明できる。 2. 特定保健用食品・栄養機能食品を説明できる。 3. 食品の安全性について説明できる。 4. 食育基本法を概説する。
1月26日(火) 2限	岸光男准教授	<b>保健医療統計Ⅰ</b> 保健医療統計を理解する。	1. 統計法について説明できる。 2. 主な保健医療統計(人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計、国民健康・栄養調査)を説明できる。
1月27日(水) 2限	岸光男准教授	<b>保健医療統計Ⅱ</b> 保健医療統計の応用について理解する。	1. 調査結果の統計学的分析法(t検定、F検定、 $\chi^2$ 検定、相関係数、順位相関係数)を説明できる。 2. 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を説明できる。

### 教育成果（アウトカム）（実習）

歯科疾患の発生や進行には、単に口腔内要因のみでなく、人間をとりまく自然的、社会的、文化的要因が複雑に絡み合っている。衛生・公衆衛生実習では、自らその原理を追求する態度を養うとともに、衛生・公衆衛生の講義で修得した知識を深化させ、これらのことを総合して考え、実行する能力を身につける。

### 実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
1月6日(水) 1月13日(水) 3、4限	岸光男准教授 阿部晶子講師 南健太郎助教 相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	<b>環境衛生実習</b> 環境衛生について理解する。	1. 水質検査ができる。 2. 感覚温度を求めることができる。 3. 空気の成分が測定できる。
1月27日(水) 3、4限	岸光男准教授 南健太郎助教 相澤文恵准教授 (心理学・行動科学分野)	<b>栄養学実習</b> 栄養と健康について理解する。	1. 自分の食生活を質的・量的に評価できる。 2. 食習慣改善のための目標を設定できる。 3. 食生活と日常生活行動、健康の関連を考察できる。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード衛生・公衆衛生 13版	末高武彦、米満正美、神原正樹、安井利一、荒川浩久 編	学建書院	2013年
教	食品成分表 2014	香川芳子監修	女子栄養大学出版部	2014年
参	国民衛生の動向 2014/2015（「厚生」の指標 臨時増刊号）	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会	2013年

成績評価方法

定期試験、講義・実習態度、ポートフォリオで評価する。
----------------------------

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
岸 光男	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
阿部晶子	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
南健太郎	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
相澤文恵	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[衛生・公衆衛生学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン	LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン		1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター	ip40B	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作製用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートパソコン・Let's note 一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器	講義用
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
デスクトップパソコン 一 式	Pro6300SF	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン 一 式	PC-MK32MLZN1 AJH	1	基礎実習・研究用機器	講義資料作成
ノートパソコン一式	dynabook R634	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成及び 講義資料提示用